

実践の POINT

自尊感情を高めるために

- 自分の思いや考えを、自分の言葉で表現する。
- グループ活動の中で、意見を伝え合い達成感が得られるような場面を設定する。

1 ねらい

相手の立場や気持ちを考え、あたたかい思いやりの心で接する道徳的態度を育成する。

2 主題設定の理由

（1）ねらいや指導内容についての教師の考え方

他の人とのかかわりの中で、温かい心と心の触れ合いの素晴らしさを理解し、思いやりの精神を身につけていくことは、人間として極めて大切なことである。しかし、個人中心的な考え方が蔓延し、社会はおろか家庭内でさえ人間同士のつながりが希薄化しつつある今日では、他を思いやるどころか、他を気にかけることすらなくなってきたように思える。指導にあたっては、相手の立場や気持ちを理解することの大切さを自覚させ、相手の思いに共感し、思いやりの心で接しようとする態度を育てることが肝要である。

（2）生徒の実態と教師の願い

本学級は、友だちや周りの人を思いやる気持ちを持った生徒や、他人の立場を考えて行動できる生徒が多い。しかし、自分の仲の良い友達には優しく思いやりを持って行動するが、そうでない人に対する声かけが弱かったり、その日の気分や思いやりの心で接することができなかつたりする場面も見られる。この資料を通して、誰に対しても隔たりなく温かみや思いやりのある行動を実践できる力を育てたい。また、周りの人間の温かい行動や言葉で、人の心が強くなれることも理解させたい。

（3）使用する資料の特質及び生徒の実態とかかわらせた指導の方策

事故に遭い、自宅療養中の少女を見舞ったクラスメイトの一人が、少女の孤独やさびしさを知り、クラス全員で少女を励まそうとする姿を通し、ねらいに迫る資料である。中心発問では、クラスメイトの思いや行動を想像することを通して、相手の立場や気持ちを考えることの大切さに気付かせたい。そして、あたたかい思いやりの心で接しようとする態度を育てたい。

3 本時で期待する生徒の姿

〔授業前の生徒の考え方〕

- ・思いやりって大事だと分かっているが、どのように実践したらいいかわからない。

〔授業を通して高めたい生徒の考え方〕

- ・他の人の立場や思いを考え、思いやりの心で接しようとする。
- ・他の人の立場や気持ちを考えることの大切さを理解する。

4 学習指導過程

	学習活動	主な発問と予想される児童生徒の反応 ◎中心発問	指導上の留意点 ※評価の視点
導入	1 状況を想像し、考える。	○まわりから取り残され、ひとりぼっちになった気持ちを考えてみよう。 ・さびしい ・悲しくなる ・泣きたくなる	・あまり時間をかけない。
展開	2、資料を読む ・少女の状況やクラス旗の話聞いた時の気持ちを把握する。 ・友だちが来なくなった時の気持ちを考える。 ・旗にこめられたクラスメイトの思いを考える。 ・少女の心が大きく動いたことを捉える。	・ただじっとしているしかない毎日 ・レモン色の旗はこの上ない友だち ・クラス旗の話聞いて、自分も加わった気がして嬉しかった ○友だちから音さが無くなった時の少女の気持ちを考えてみよう。 ・旗の話なんかするんじゃなかった。 ・私のことなんか、忘れていたのだろう。 ・そのとき限りの気休めだったのだろう。 ◎友だちが、「あんたが出てくるまえに、どうしてもあの窓から見てもらいたい」と思ったのはどうしてだろう。 ・安心して登校して欲しかったから。 ・みんなが待っていることを伝えたかったから。 ・「仲間だよ」ということを伝えたかったから。 ○「この町に引っこしてきてよかった」と心から思った少女の心の中を察してみよう。 ・クラスの友だちがとても優しいから。 ・みんなが温かく迎えてくれたから。	友だちに裏切られたと思い落ち込んでいる少女の気持ちを捉える。 クラスメイトの思いや行動を想像し、感動している少女の心を捉える。 人の心のぬくもりが人の生活に大きく関わることを理解させたい。
終末	3、思いやりについて考える。	○思いやりとは、どういうものなんだろう。 ・思いやりとは・・・。	自分の生活を振り返りながら、思いやりについて考えさせたい。